

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>プロアマ・ブルーインベーター</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.500</b>	△RG <b>0.049</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ブルー・インベーター**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ブラック・インベーター**

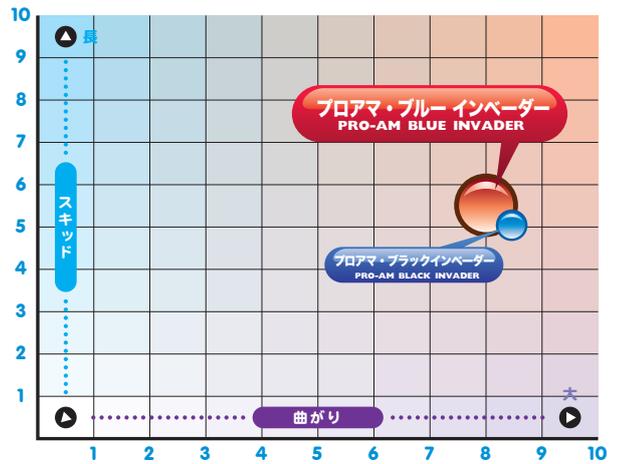
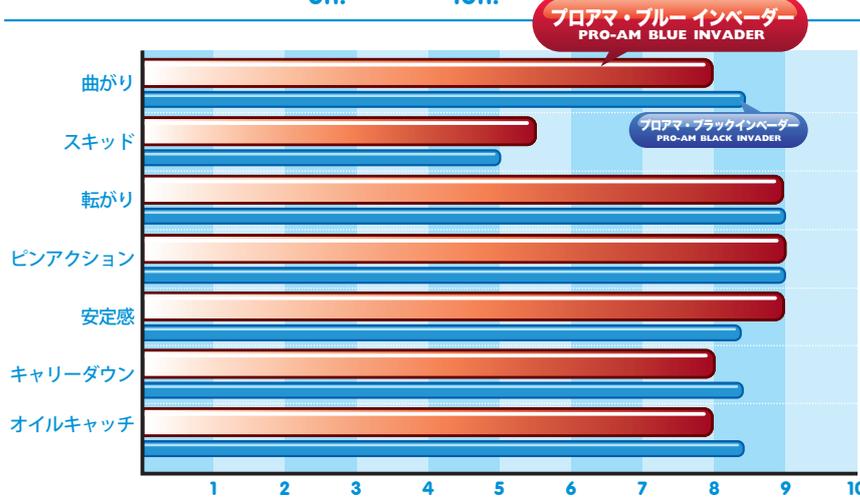
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

ABS史上、“最速で完売記録”を塗り替えたBlack INVADERは、MULTIからの話題性だけではなく、その類まれなる性能はABSのレポートリーに新たな息吹を与えてくれるものでした。そして早くもINVADERシリーズ3作目である今回ご紹介するBlue INVADERは、MULTIのリアクション特性を再現しながらキャッチを強めたMULTIのプレミアムバージョンです。何と言っても拘ったのは今回採用したカバーストックで、Hybrid ReactiveとPearl Reactiveを絶妙ともいえる配合比ケミカルチューンを行い、生まれた”MO5.7P”カバーストックはINVADER MULTIのMO5.5PとBlack INVADER MO6.0Pとの中間に値し、Highly Polishedすることで”MULTIよりキャッチさせBlackより走らせる”特性を実現しました。MULTIに感じた万能性とミッドエリアから加速しながらピンヒットまで駆け抜ける独特のリアクション特性は、実際皆さんが投球して感じた通り、今まで戻すことのできなかつた大きく外に向いてのラインを可能にして、投球幅を感じる事ができたと思います。そして今までの”走って切れる”概念を大きく覆し、スキッドとキャッチの質の違いをも感じて頂けたでしょう。その質の違いを知った貴方はきっと「またINVADERを使いたい」と感じるはずですよ。

今回のBlue INVADERはあえてMULTIのリアクション特性を継承させるよう意識して作成しました。MULTIを買いそびれた方やBlackのリアクション特性よりMULTIの曲がりをお好む方には是非使用して頂きたいと思っております。Blackから短い期間でBlue INVADERをリリースするには訳があります。単にBlackとBlueの曲りのイメージの違いを感じて欲しいこととは別に、この二つのボールとRaiderがあればあらゆるコンディションにPRO-amのボールで対応が可能になるからです。PRO-amの性能の良さを感じて頂きたいからこそ、PRO-amシリーズとしての投球もお考えください。

### 特記事項

**今回のBlue INVADERはMULTIとBlackのちょうど中間の動きを模索し、MULTIの動きに近付けたことでBlackとの動きの違いも明確です。MULTIに近いボールをお探しの方はこのボールは見逃せません。**